

2024年3月期 第3四半期

決算説明会

ニデック株式会社

Nidec
All for dreams

50
ANNIVERSARY **th**



大・中型多関節ロボットなどのロボット関節部等に
搭載可能な精密減速機「KINEX」

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

前頁の写真は、当社子会社であるニデックドライブテクノロジー㈱が開発した精密減速機「KINEX」です。大・中型多関節ロボットやスカルロボットなどのロボット関節部をはじめ、サーボモータ用減速機としてあらゆるアプリケーションに搭載可能な製品です。

■ 3Q累計の連結業績は**全項目で過去最高を更新**

売上高・営業利益・税引前利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益のいずれの項目においても過去最高を更新。

■ EVトラクションモータ事業は**戦略転換を実施し再出発へ**

EVトラクションモータ事業の財務健全化と今後の収益力強化に資する構造改革費用の計上を想定。

■ 期末配当を**増配**

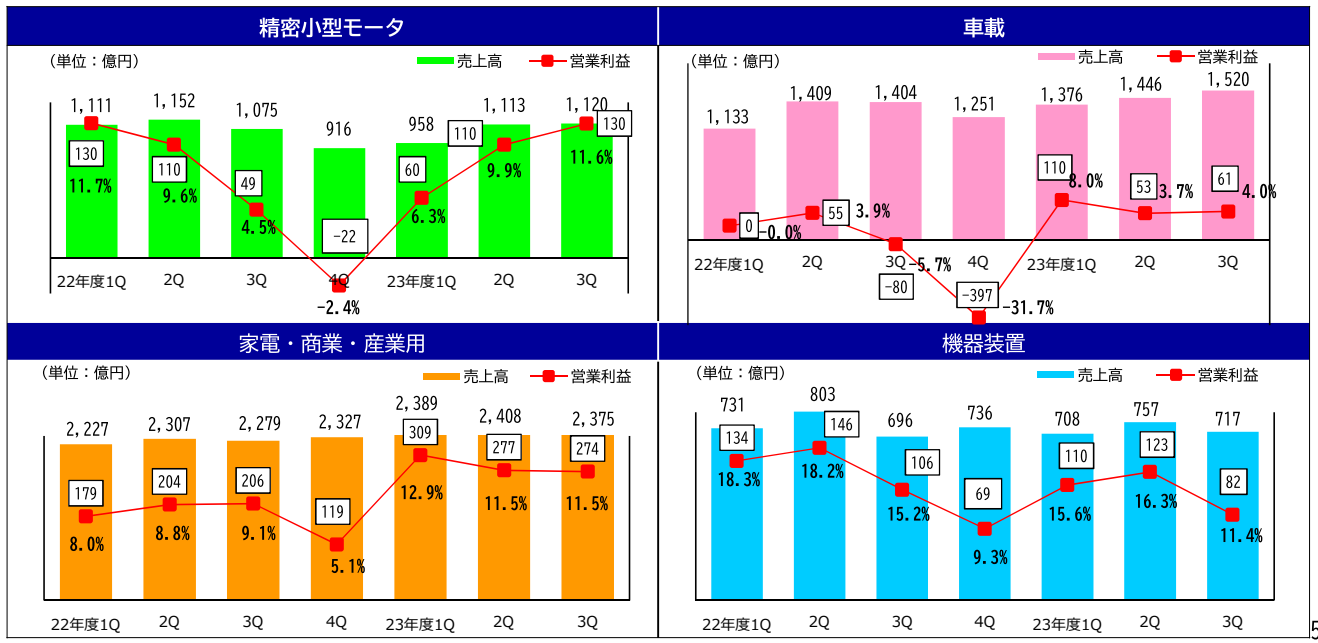
通期業績予想を修正するも、期末配当を5円増配の40円とし年間配当75円へ。

(百万円)	22年度 第3四半期 (累計)	23年度 第3四半期 (累計)	増減率
売上高	1,699,747	1,754,688	+3.2%
営業利益	124,404	169,321	+36.1%
営業利益率	7.3%	9.6%	-
税引前利益	141,944	193,744	+36.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	104,077	145,908	+40.2%
一株利益 (円)	180.72	253.93	+40.5%
対米ドル為替レート			
平均・・・	136.51円	143.29円	+5.0%
期末・・・	132.70円	141.83円	+6.9%

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円 (全てFY23通期ベース)

製品グループ別、四半期業績推移

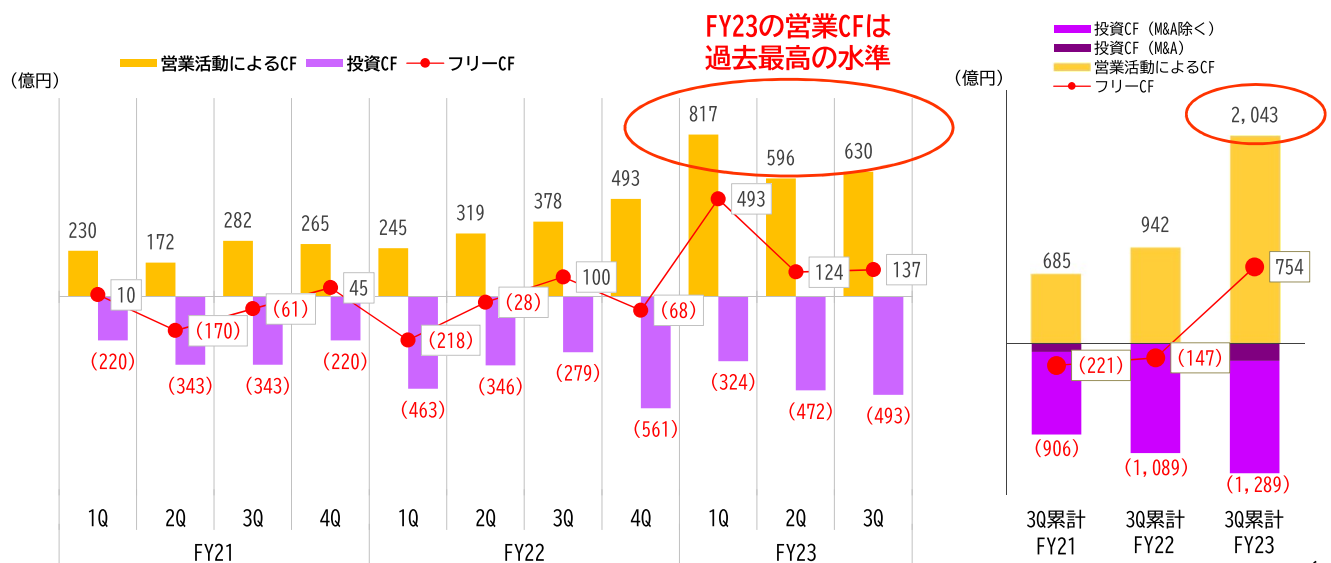
*24ページに記載の注記にご留意下さい



5

キャッシュフロー経営の推進

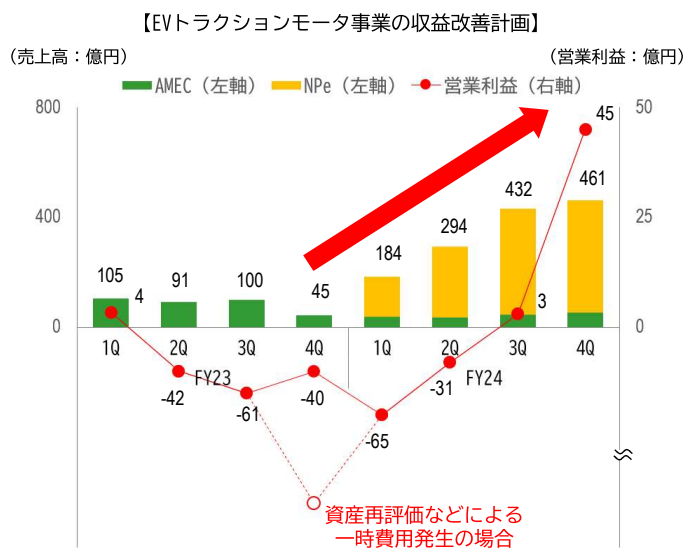
営業利益率や運転資金効率化等に注力し、キャッシュフロー生成力を高める



6

EVトラクションモータ事業はFY24からリスタート

FY23Q4を大底とし、FY24からの着実な収益改善を実現



- NPe（ステランティス合併）は AMECとの融合を図り、**ヒト・技術・生産における協業を強化**。
- NPeの垂直立上げ（FY24）に向けて、モータ部品は本体（AMEC）中国工場からの**万全サポートにて推進**。
- 中国市場は、極端な価格競争が進展（CDQ市場）※。受注制限、**開発力や部品のさらなる現地化により収益化を徹底**。

※CDQ：優先順が、コスト（C）→納期（D）→品質（Q）の市場の意。

NPe（欧ステランティス社との合併会社）

採用車両数は続々と増加、FY24より連結算入を開始

量産時期	量産中			FY24以降、量産予定	
採用車種	 DS3 E-Tense	 Jeep Avenger	 Fiat 600e	 C3 elec	 C3 Aircross elec
	 Peugeot e-2008	 Peugeot e-208	 Opel Mokka-e	 Opel Crossland	 Fiat panda
駆動装置	 125 kW			 80 kW	

■インド・アフリカ市場への進出を拡大

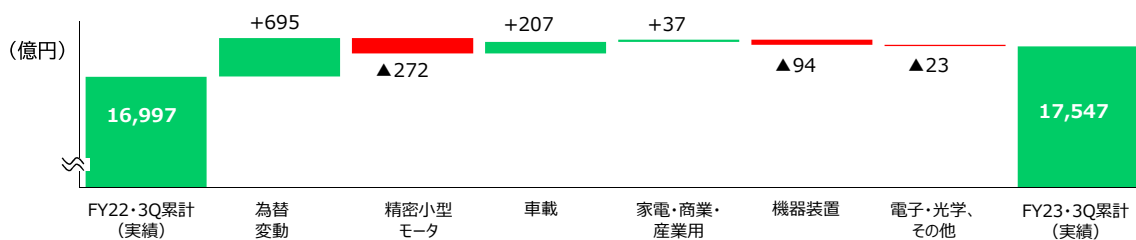
旺盛なインド・アフリカの需要に応じて集中投資。アフリカでの生産を2025年に開始



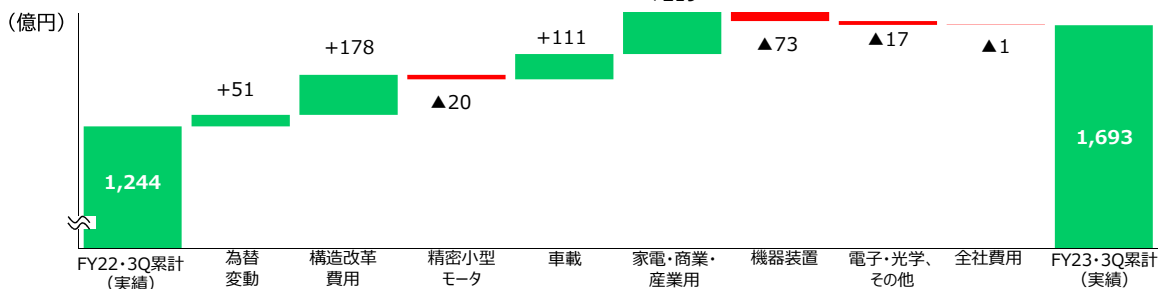
9

■2023年度3Q（累計）の前年同期比増減分析

【売上高】



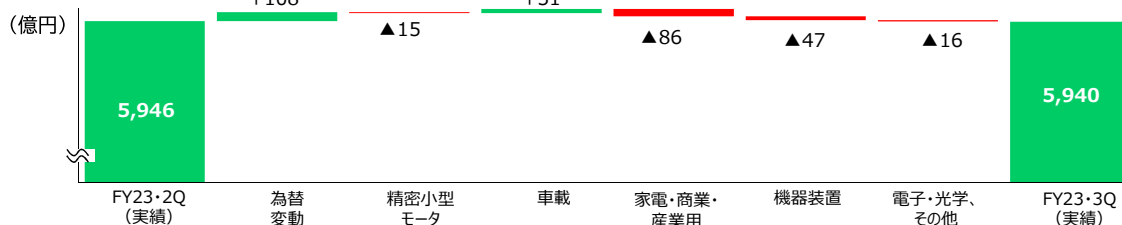
【営業利益】



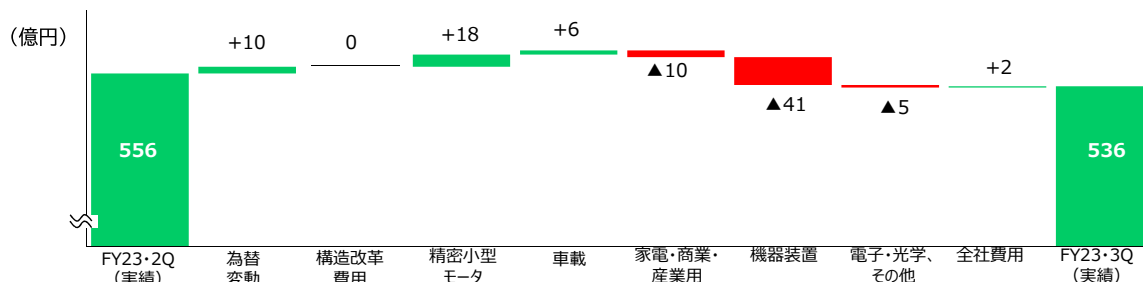
10

■2023年度3Q（3ヶ月）の直前四半期比増減分析

【売上高】



【営業利益】



■FY23通期業績予想を修正

4Qにおける資産再評価等による一時費用発生可能性を踏まえFY23通期業績予想を修正

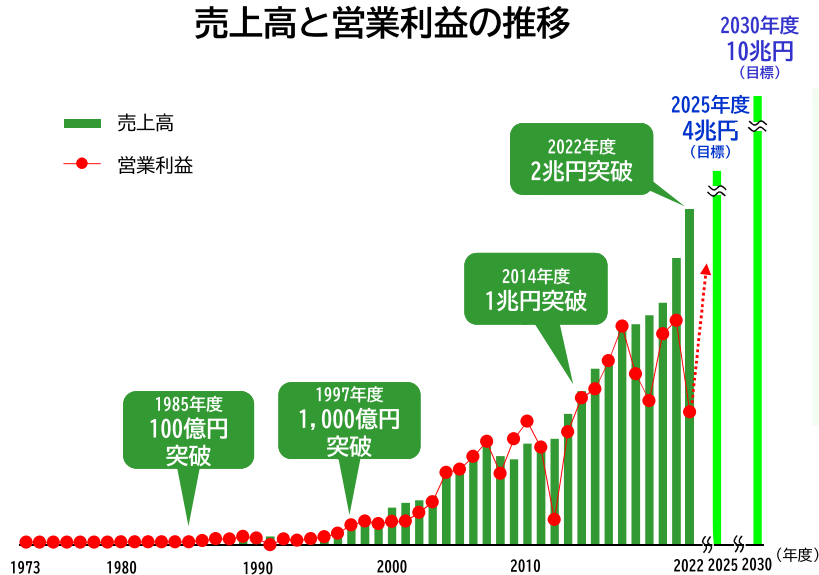
(単位：百万円)	FY23通期予想 (期初提示)	FY23通期予想 (今回修正)	2Q累計実績 (4-9月期)	3Q実績 (10-12月期)	4Q予想 (1-3月期)
売上高	2,200,000	2,300,000	1,160,662	594,026	545,312
営業利益	220,000	180,000	115,759	53,562	10,679
営業利益率	10.0%	7.8%	10.0%	9.0%	2.0%
税引前利益	210,000	205,000	145,336	48,408	11,256
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	165,000	135,000	106,064	39,844	-10,908
一株利益 (円)	287.16	234.95	184.59	69.34	-18.98
為替レート (対米ドル)	120.00円 (通期想定レート)	120.00円 (4Q想定レート)	141.00円 (平均レート)	147.89円 (平均レート)	120.00円 (4Q想定レート)

中長期戦略目標

Nidec の中長期目標



売上高と営業利益の推移

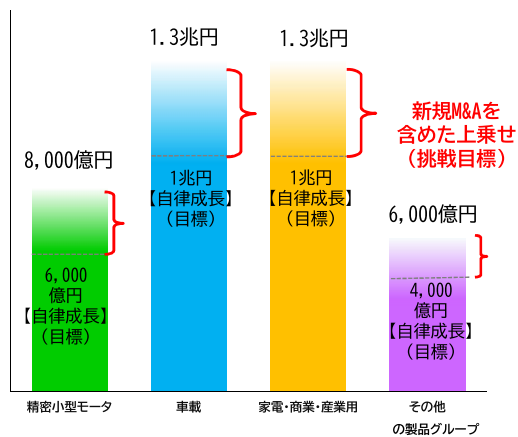


成長領域に軸足を置いた自律成長と新規M&Aによる売上と利益の増加を目指す。

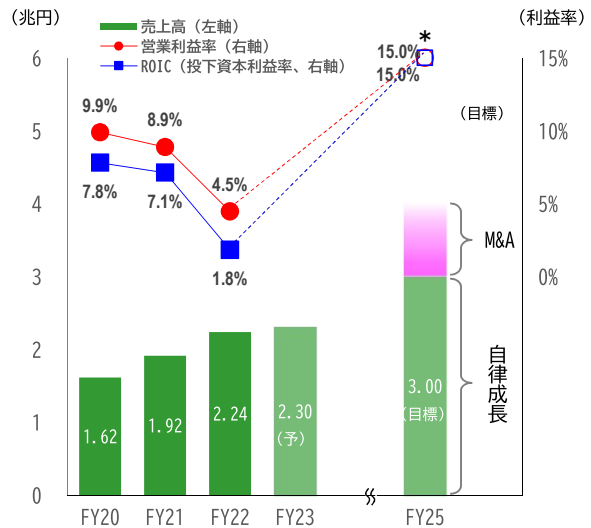
■中期戦略目標 Vision2025

2025年度
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



売上高3兆円（営業利益率15%）
とM&A1兆円で、計4兆円

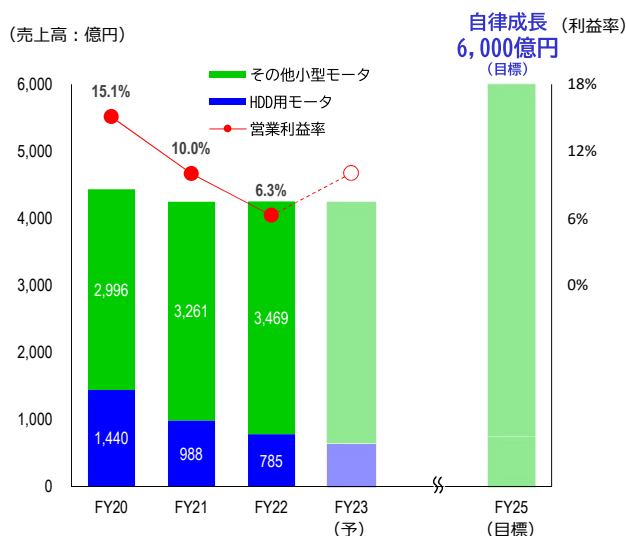


* 2025年度の営業利益率目標15%は、自律成長（売上高3兆円分）に適用。

■精密小型モータ：セグメント内の事業ポートフォリオ転換を加速

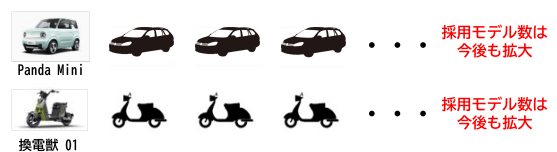
省電力関連やサーマルマネジメント需要の獲得に加え、車載小型モータの量産化を開始

【精密小型モータの Vision2025】



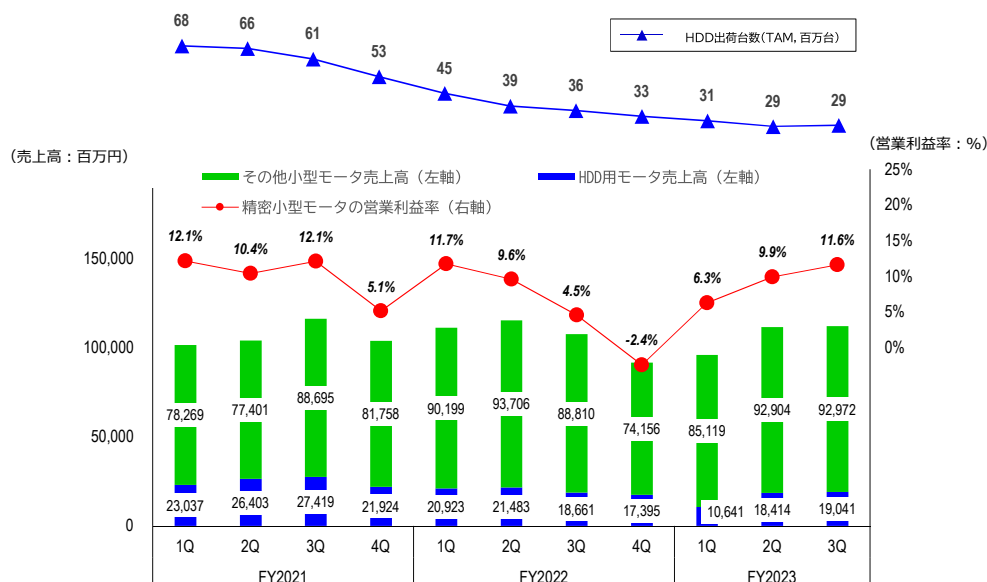
【中期成長ドライバー】

- ①車載小型モータ（電動2輪用モータや出力30kW以下の小型EV用モータ等）、②サーマルマネジメント（冷却ファンや台湾CCI等）、③デジタル家電用モータ、の3分野への集中的な取り組みを通じ、精密小型モータにおけるポートフォリオ転換を着実に遂行。
- HDD用モータは、主にデータセンター向けやサーバー用途の需要拡大を捉え、二アライン用HDDモータ等の高付加価値品の製品構成比率上昇を通じ更なる高収益化を図る。



■精密小型モータ：四半期別業績推移

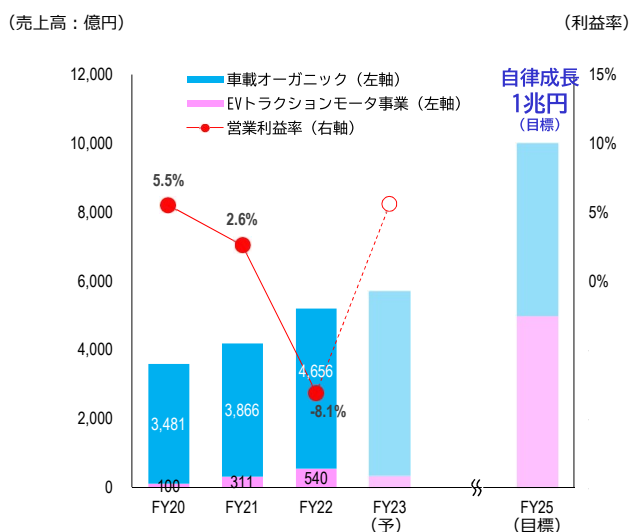
中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けた **WPR-X** 活動を同時に推進



■車載：高成長への打ち手

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載システム企業を目指す

【車載の **Vision2025**】



【EVトラクション関連】

- FY23は、不採算機種種の受注を制限する等、収益性最優先へと戦略転換を実施。
- 商圏を、これまでの中国中心からグローバル（欧米）へ展開。製品も、これまでのE-Axle（システム）に加えモータ部品にも注力し、売上・利益の成長を強力に推進する。

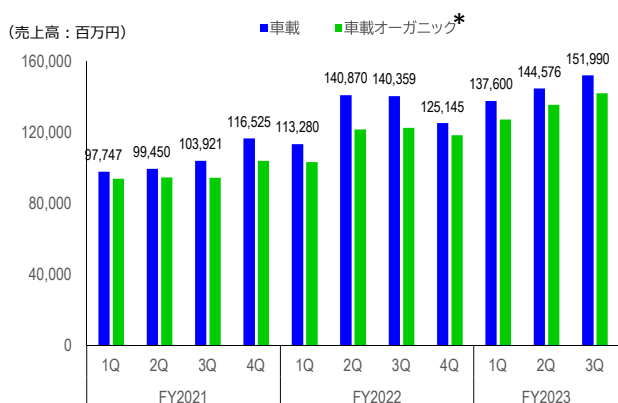
【車載オーガニック】

- グローバル自動車市場は成長率が鈍化傾向も電動化進展による旺盛なモータ等の関連需要を当社は捉え、電動パワーステアリング用や電動ブレーキ用等を軸に、更なる市場シェアを獲得。

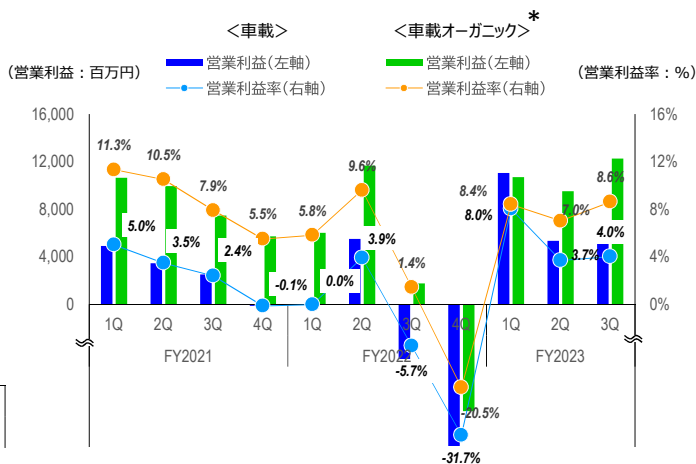
■ 車載：四半期別業績推移

FY22下期の構造改革費用計上から、FY23は反転攻勢へ

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】

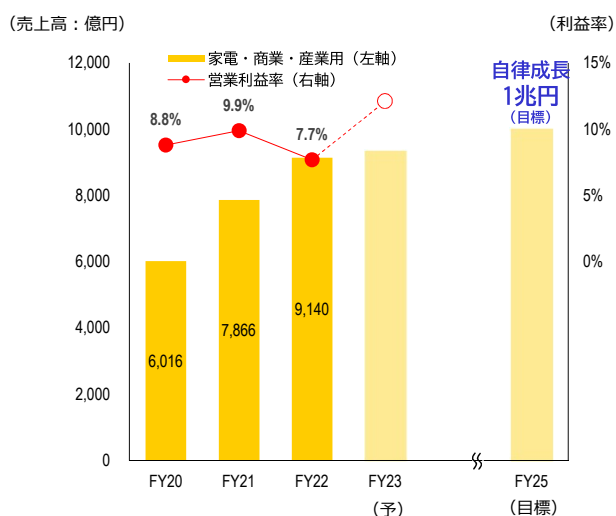


*車載オーガニック…車載から、EVトラクションモータ事業による業績影響を除外したものの。

■ 家電・商業・産業用：高成長への打ち手

高効率モータへの置き換え等グリーンイノベーション関連需要の獲得を軸に高成長を実現する

【家電・商業・産業用の Vision2025】



【中期成長ドライバー】

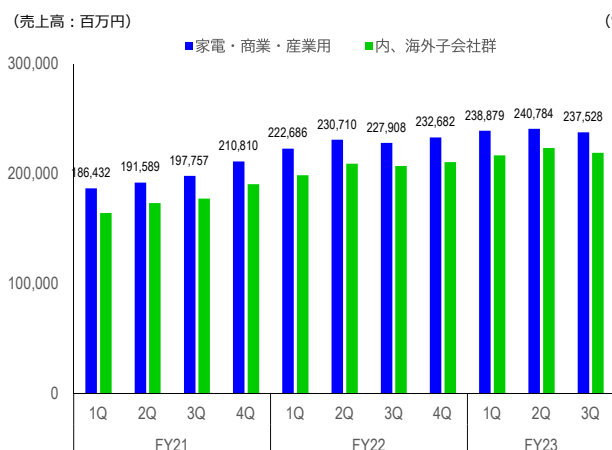
- 家電分野は、高効率モータへの置き換えが進展。空調機・洗濯機・乾燥機・食洗器用や、冷蔵庫用コンプレッサ用途のブラシレスDCモータ需要等を獲得。
- 商業分野は、業務用空調機用途やEコマースで使用されるロボットモジュール等の需要を獲得。
- 産業分野は、再生可能エネルギー市場において不可欠なBESSや、半固体リチウムイオン電池メーカーFREYR社との合併事業に注力。



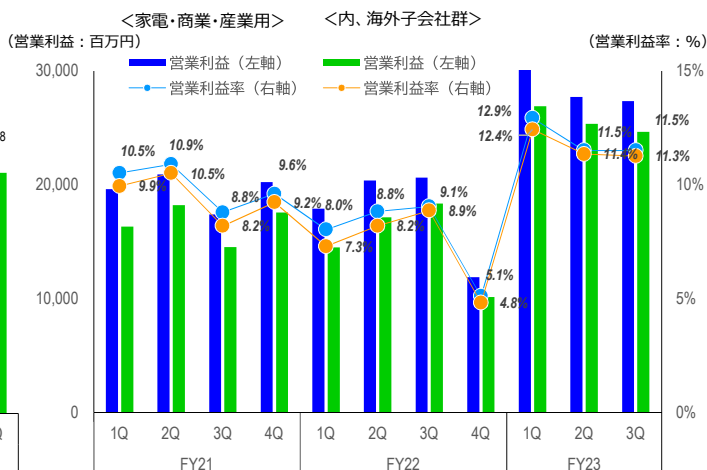
■家電・商業・産業用：四半期別業績推移

発電機やクリーンエネルギー市場の追い風を受け、海外子会社の収益性改善が進展

【売上高の推移】



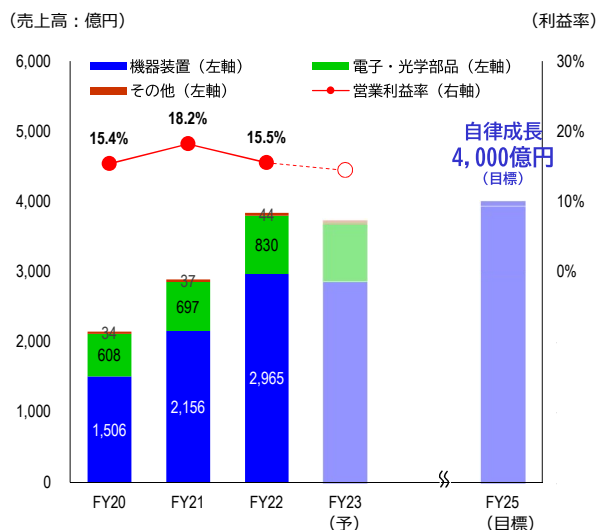
【営業利益額と営業利益率の推移】



■その他製品グループ：高成長への打ち手

FY23より機械事業本部が始動（減速機・プレス機・工作機械）、機器装置の高成長を牽引

【その他製品グループの **Vision2025**】



【中期成長ドライバー】

- 機械事業本部（ニデックドライブテクノロジー*）でFY25売上高5千億円、FY30売上高1兆円を目指す。
- 波動歯車減速機は、引き続き協働ロボット市場のグローバルシェア拡大を徹底推進。遊星減速機も、欧州に新生産拠点を設け売上拡大を図る（旧NMAスペイン拠点の遊休資産を活用）。
- プレス機は、アンチプラスチック向けやEV向け等の成長分野を強化。周辺の装置も補強し小型高速機から大型機まで全ラインアップを強化。
- 工作機械は、ポートフォリオの充実（販売市場と製品構成の多様化）を図るなか、特に中国市場を深耕し高成長を狙う。(株)TAKISAWAへのTOBを完了。



歯車工作機械の生産現場
(中国平湖市のレンタル工場：22年10月～)



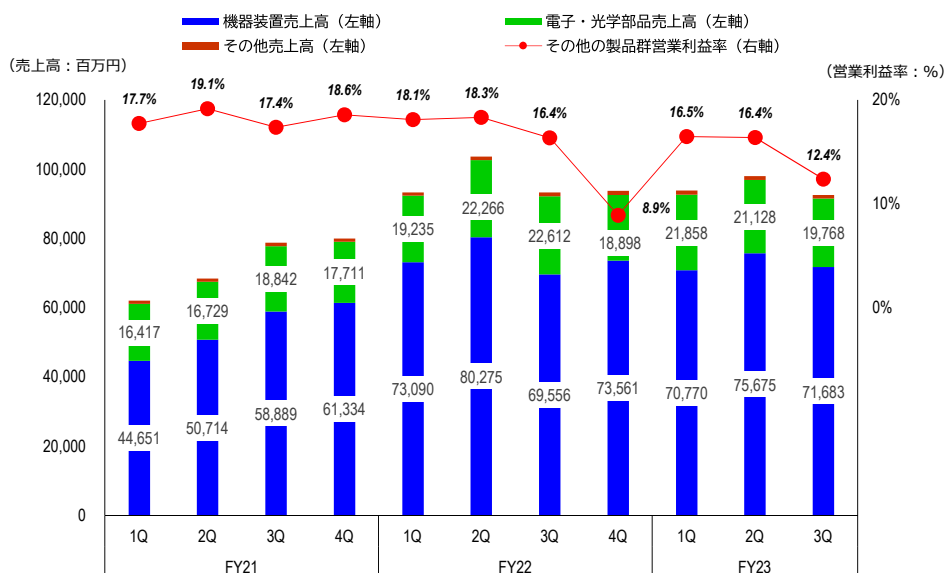
工作機械の中国平湖新工場
(第1期工事：2023年6月竣工)

* ニデックドライブテクノロジー：旧、日本電産シンボ

■その他の製品グループ：四半期別業績推移



FY22Q4の構造改革費用計上を経て、FY23は更に一段上の収益性改善を狙う



23



お問い合わせ先

ニデック株式会社 IR部

Tel : 075-935-6140

E-mail : ir@nidec.com

注記：IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しております。
 前連結会計年度のPAMA S.p.A.社の株式取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価を当第3四半期連結会計期間に見直しました。
 これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の見直しによる取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。
 また、前連結会計年度及び当第3四半期連結累計期間の買収により取得した資産、引き継いだ負債のうち、現在評価中の資産、負債については、
 当第3四半期連結会計期間末日時点の予備の見積りに基づいております。

24

業績推移・ 製品グループ別状況

■コロナ後の新「5つの大波」



コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決するニデックのソリューションビジネス群

5G & サーマルソリューションの波
(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)

脱炭素化の波
(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適・熱マネジメント)

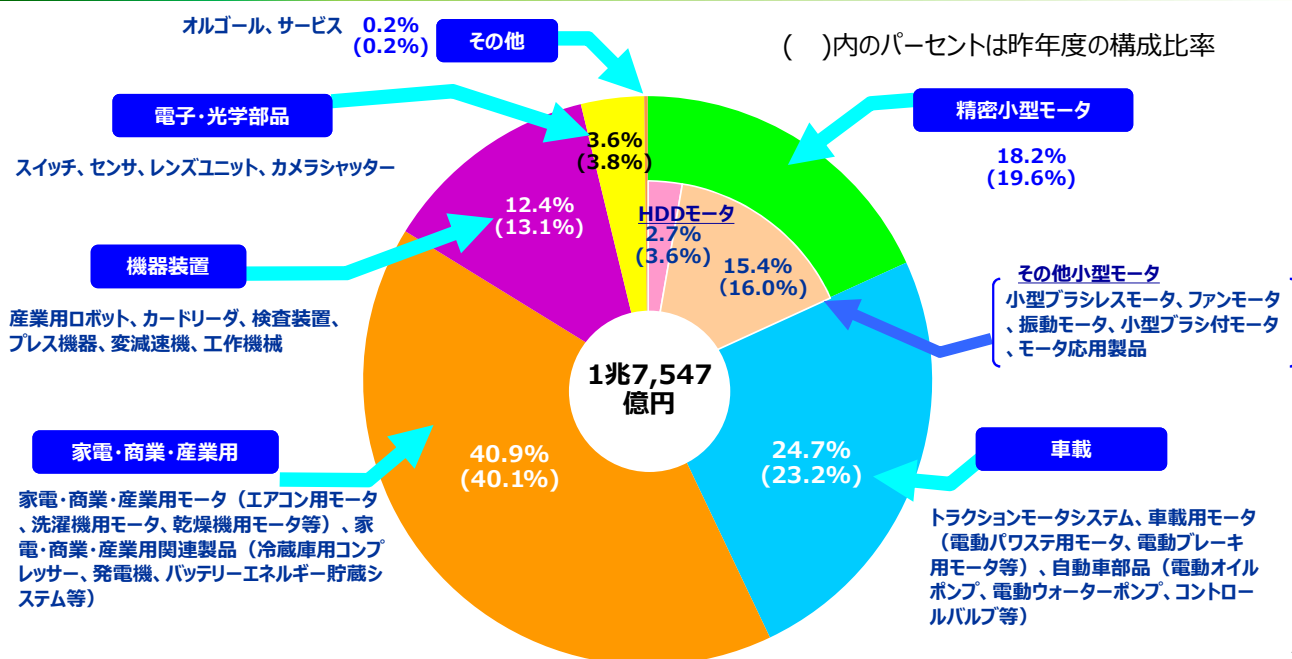
省人化の波
(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)

デジタルデータ爆発の波
(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)

省電力化とコロナ後の波
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)

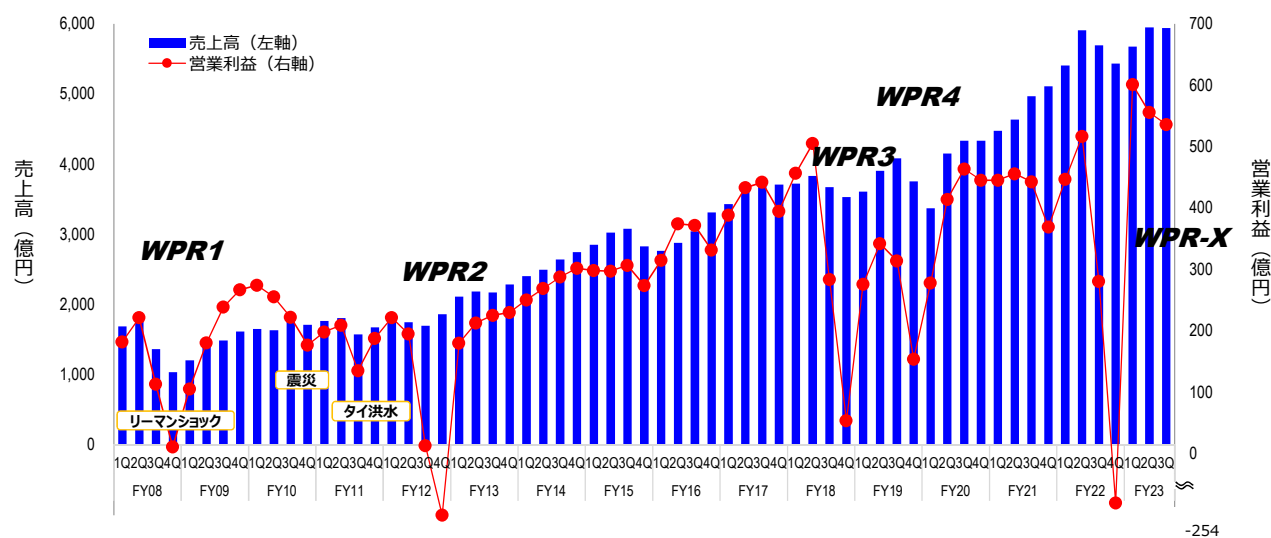
ファンモーター、ベーパーチャンバー、ヒートパイプ、eVTOL (電動垂直離着陸機)、車載用モーター、トラクションモーターシステム、減速機、ドローン用モーター、家電用モーター、冷蔵庫用コンプレッサ

■23年度第3四半期（累計）製品グループ別売上構成



■四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

WPR-X活動によるFY22の収益構造改革を経て、FY23は業績V字回復へ

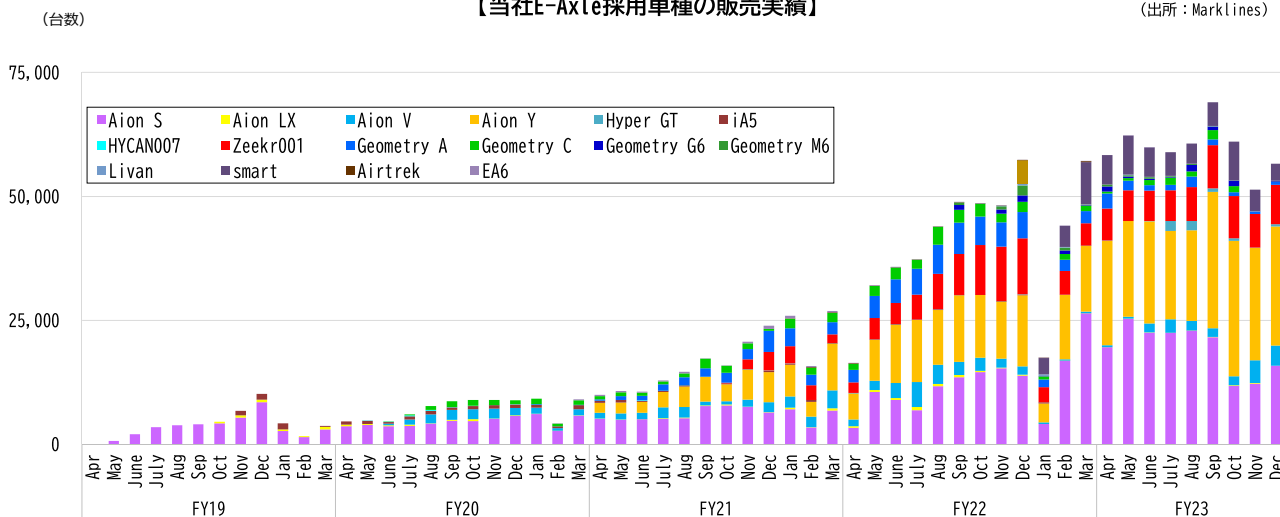


■ 車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況

当社E-Axle搭載車種はFY20に前年比90%増、FY21同140%増、FY22同138%増

【当社E-Axle採用車種の販売実績】

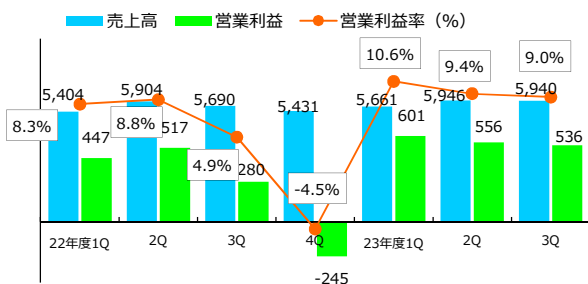
(出所：MarkLines)



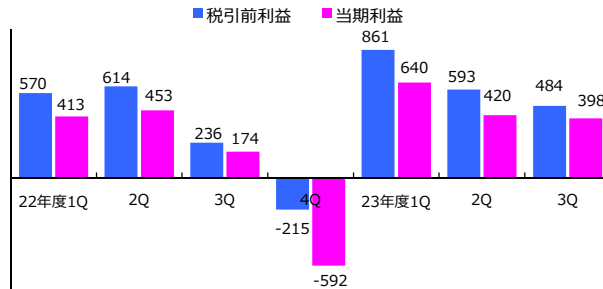
■ 連結決算ハイライト

* 24ページに記載の注記にご留意下さい

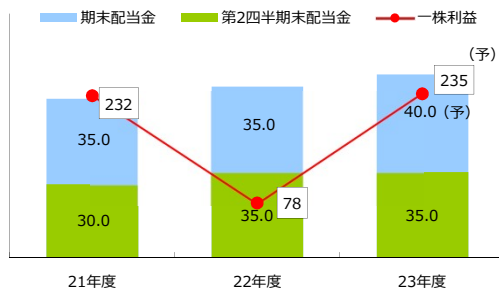
【売上高・営業利益の推移（億円）】



【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】



【キャッシュフローの推移（億円）】

